



# LiveRamp Safe Haven (LSH)

プライバシーを重視したデータコラボレーション環境

デジタル化が進んだことにより、消費者の行動も大きく変化しました。

この市場の変化を次のビジネスチャンスとすべく、新たなマーケティング施策を行う必要があります。オンライン、オフライン関係無くリアル店舗でもECでも、より良い購買体験のため、従来以上にユーザ情報の管理と活用が重要になってきています。

より良い顧客体験の創出のためには、効果的にデータを活用する必要があります。LiveRamp Safe Haven (LSH) は、顧客にあったワンツーワンマーケティング施策のため、プライバシーが確保された安全な状態で構築でき、企業内のデータを最大限に有効化させます。効果的なキャンペーン展開に足りないデータを補えるデータパートナー連携も実現可能になります。

## プライバシーを重視した設計



分類体系、オーディエンス、イベントレベルなど、ご希望の単位でデータを作成



個人情報 (PII) は匿名化され、ローデータは使われません



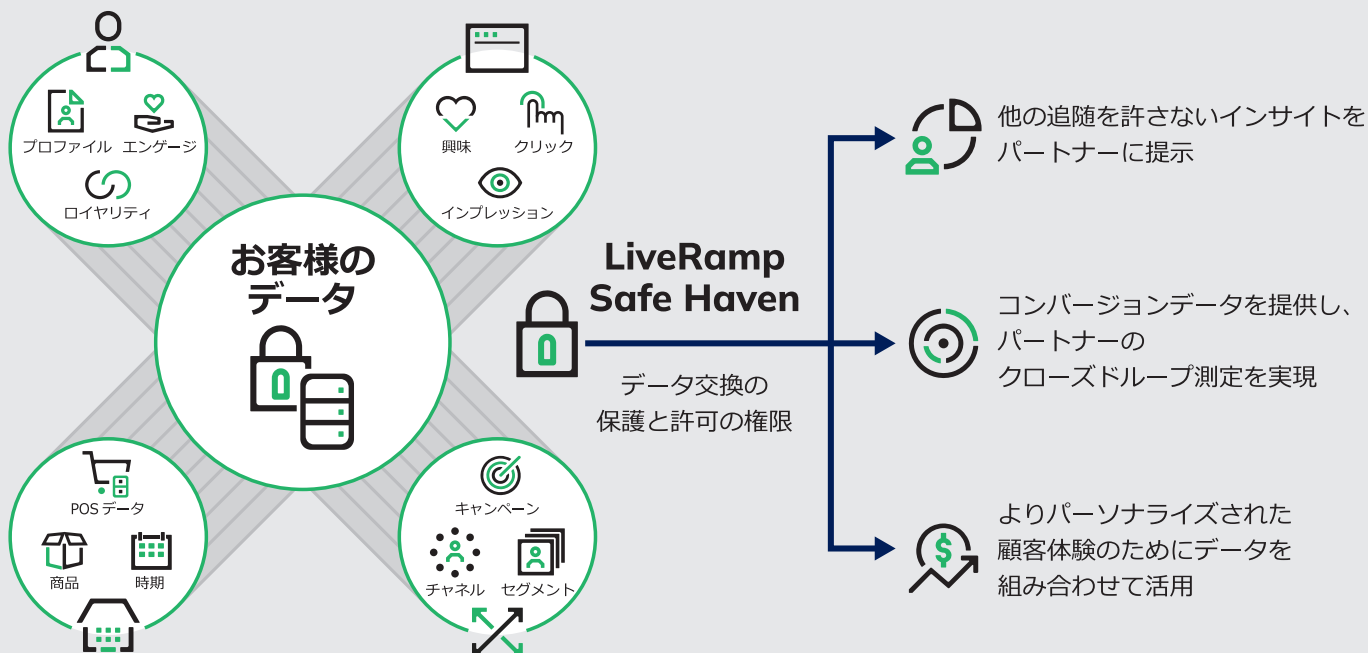
インサイト、モデリング、配布、レポート、分析など、ユースケースごとにデータを管理



お客様のデータは決してダウンロードすることができず、SaaS プラットフォームの中で安全に管理

## LiveRamp Safe Haven (LSH) の特長

- 個人を特定できない形に変換された自社データを他のLSHユーザと共有可能
- パートナー企業の保有データと突き合わせ、成果を最大化する戦略的イニシアチブを遂行可能



# 自社パーティデータの活用に最適化された環境

LiveRamp Safe Haven は、企業全体でも活用できる有益な機能を提供します。キャンペーンマネージャーやデータサイエンティストが、一元化されたワークスペースで安全にデータにアクセスし、データ活用と管理を行え、迅速に測定、分析、抽出、価値のあるインサイトを得ることが可能になります。



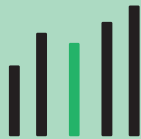
## オーディエンス構築

自社の分断化されてしまっているデータを最大限に活用し、ターゲティングとパーソナライゼーションを目的としたオーディエンスを作成・拡張



## 制御されたデータの活性化

事前に承認されたパートナーとの間でデータを有効化し、顧客に対するメッセージをカスタマイズ



## 測定

イベントレベルにおけるコンバージョンとエクスポージャーのデータを統合し、広告の費用対効果を測定



## 価値あるインサイト

異なるデータソースを統合し、モデリングと分析に最適な顧客ビューを作成

## /LiveRamp が選ばれる理由

### 信頼できるプラットフォーム

- 400社を超えるグローバルのトップブランドが採用

### 将来性

- 人ベースの ID「RampID」により、業界の変化に対応する柔軟性を備えています

### 中立性

- データを安全に保つためのツールと機能を備えた、また企業間のデータコラボレーションも実現を可能にするために設計されたプラットフォーム

### セキュリティ

- GDPR および CCPA になどのデータプライバシー規制にも準拠した、業界をリードするデータ ガバナンス プログラムとプライバシー第一の設計への取り組みにより、データが安全に使用され、その使用が制御できることが保証されています



お問い合わせ： **LiveRamp Japan株式会社** <https://liveramp.co.jp/>  
〒105-0001 東京都港区虎ノ門1-10-5 WeWork KDX 虎ノ門一丁目11F

※このカタログに記載された情報は、2023年2月現在のものです。内容は予告なしに変更することがあります。  
カタログ番号:LR001-202302-02

/LiveRamp